

「道路ふれあい月間」を記念して様々な行事が展開

道路は、私たちの毎日の生活を支える欠くことのできない基本的な社会資本ですが、あまりにも身近な存在であるため、その重要性が見過ごされがちです。

8月10日の「道の日」を契機に、「道路」の大切さをもう一度見直す様々な行事が、県内各地で行われました。

清掃・点検活動

◇ 盛岡地方振興局

8月10日 振興局と県庁道路環境課職員計60名で、「道路をきれいにし隊」を結成し、管内の清掃活動を行いました。



◇ 盛岡地方振興局岩手出張所

8月10日 出張所職員17名が国道281号と282号の清掃活動を行った他、建設業協会の有志約180名にも参加していただき、国道・県道の清掃活動を行い、トラック4台分のごみを収集しました。



◇ 県南広域振興局花巻総合支局

8月9日 支局職員21名で、管内の国道・県道の歩道を歩き、点検活動や清掃活動を行いました。普段車で通るのとは違った目線で見ることができ、新たな発見もありました。



◇ 県南広域振興局

8月4日 建設業協会水沢支部青年会と支局職員とで、管内の国道・県道の清掃活動を行いました。チエーン着脱所や待避所では、空き缶や雑誌などのごみが多く回収されました。



◇ 県南広域振興局一関総合支局

8月10日 建設業協会一関支部、一関市、平泉町、支局職員の総勢 111名で、「黄金ロードふれあい作戦」と銘打ち「平泉の文化遺産を世界遺産へ」のぼりを立てて、管内の国道・県道・市道の清掃活動を行いました。



◇ 久慈地方振興局

8月9日 建設業協会久慈支部青年部、県アスファルト合材協会久慈支部、宮城建設、久慈市、洋野町、野田村、普代村、振興局職員の総勢 102名で、管内の国道・県道 25 kmの清掃活動を行いました。



現場見学会

「杜の大橋」現場見学会

◇ 盛岡地方振興局

盛岡市立本宮小学校5年生と6年生の児童20名が、平成18年末に開通予定の「杜の大橋」を見学しました。子どもたちは、振興局職員から、橋の長さや構造などについて説明を受けたり、橋についてのクイズにも挑戦。実際に動く工事車両にも体験乗車しました。

ヘルメットをかぶりながら、長さ494mの橋を歩いて渡った子供たちは、工事関係者以外でははじめての通行者と聞き、特別な気分とうれしそうでした。



ヘルメット姿の子供たち



工事車両に体験乗車

二戸地方振興局では、8月10日の「道の日」関連行事として、道路清掃の他、毎年、街道・旧道を訪れるイベントを行っています。様々な人や物が行き交った昔の道を歩くことによって現代の道の重要性を実感してみようというイベントです。

このイベントは、今年で10年目、もちろん地域の多くの参加者に支えられてきましたが、実は、イベントの準備から当日までの裏方となる実行委員会の協力体制も欠かせません。開催にあたっては、参加者募集の広報活動、事前のコース設定・草刈り・仮設トイレ設置などのコース整備、現地送迎、説明ガイドの配置、記念品配布など、県建設業協会二戸支部青年部・市町村・県・国の協働によるところが大きいのです。

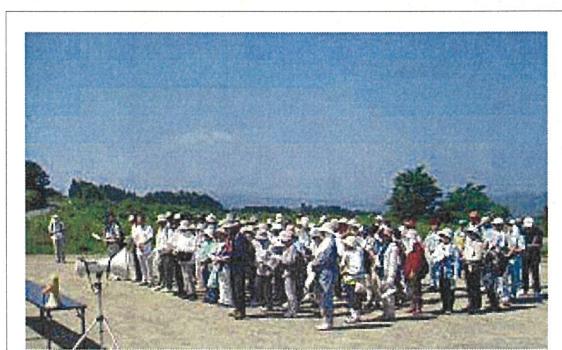
10回目の今年度は、軽米町を開催地とし、「八戸街道の旧跡を訪れる」と題して旧八戸街道の一部（猿越峠から観音林までの約3km）を歩きました。今回の参加者は、公募した小学生から高齢者まで的一般住民71名と職員41名を合わせた112名の多数の参加者となりました。

当日は、気温が33度の猛暑になったこともあり、休憩地での冷たいスイカと麦茶の提供は、参加者から好評を得ていました。これからも地域の方々に支えられながら、このような事業を続けていきたいと思います。

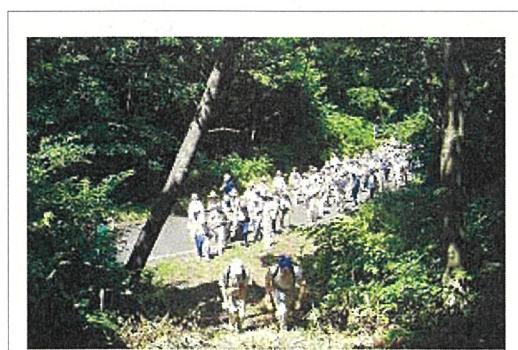


【役割分担】

岩手県建設業協会 二戸支部青年部	コースの事前草刈り整備、仮設トイレの設置、スイカ・麦茶の提供
軽米町 (開催地)	開催コースの選定、街道・旧跡説明のガイドの手配、参加者募集のための広報紙掲載、現地送迎用のバスの手配、記念品の手配（ジュース等）
二戸市、一戸町、九戸村	参加者募集のための広報紙掲載、現地送迎用のバスの手配
二戸地方振興局土木部	開催段取り、参加者募集のための広報、記念品の手配（タオル）、参加者の保険加入、記念写真の撮影
国土交通省岩手国道事務所 二戸維持出張所	記念品の手配（ボールペン、うちわ）



さあ出発です



旧道に入っています

この他、遠野土木センター、千厩土木センター、大船渡地方振興局、釜石地方振興局、宮古地方振興局でも、記念イベントが開催されました。